

平成26年度 公共事業再評価

防災安全交付金 高潮対策事業

呼子港海岸（殿ノ浦地区）

県土づくり本部 交通政策部 港湾課

1. 事業の目的



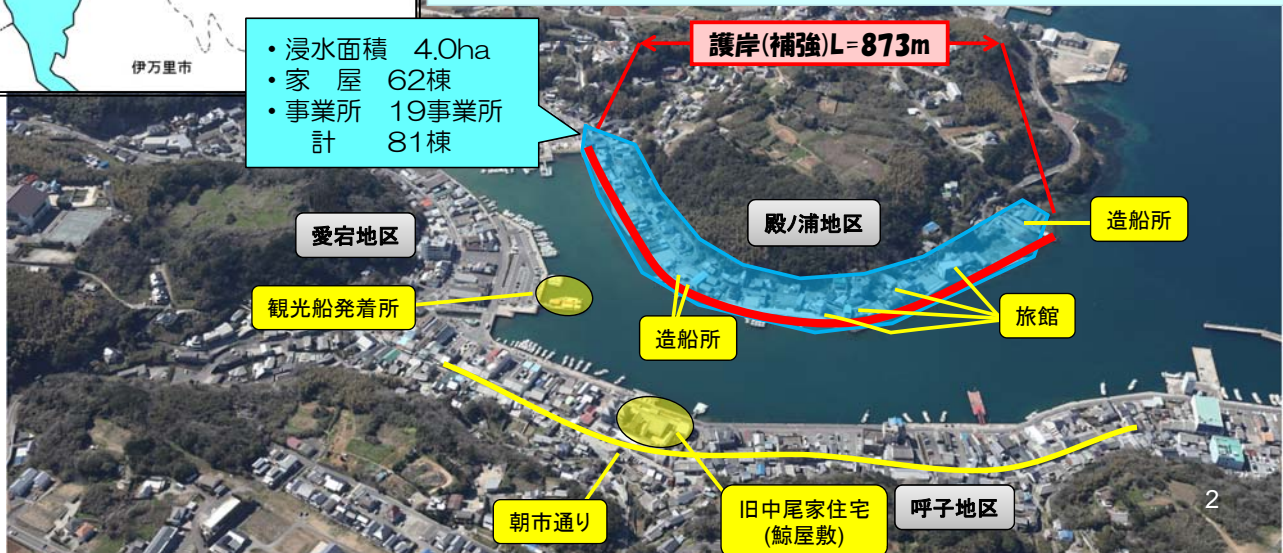
【現状】

呼子港海岸背後は急傾斜地で、幅40～50mの狭い範囲に旅館、事業所や住宅が密集している。現状の護岸は、空石積で竣工年度も不明で老朽化が著しく、一部崩壊箇所も見られ、高潮発生時には、浸水被害も発生している。

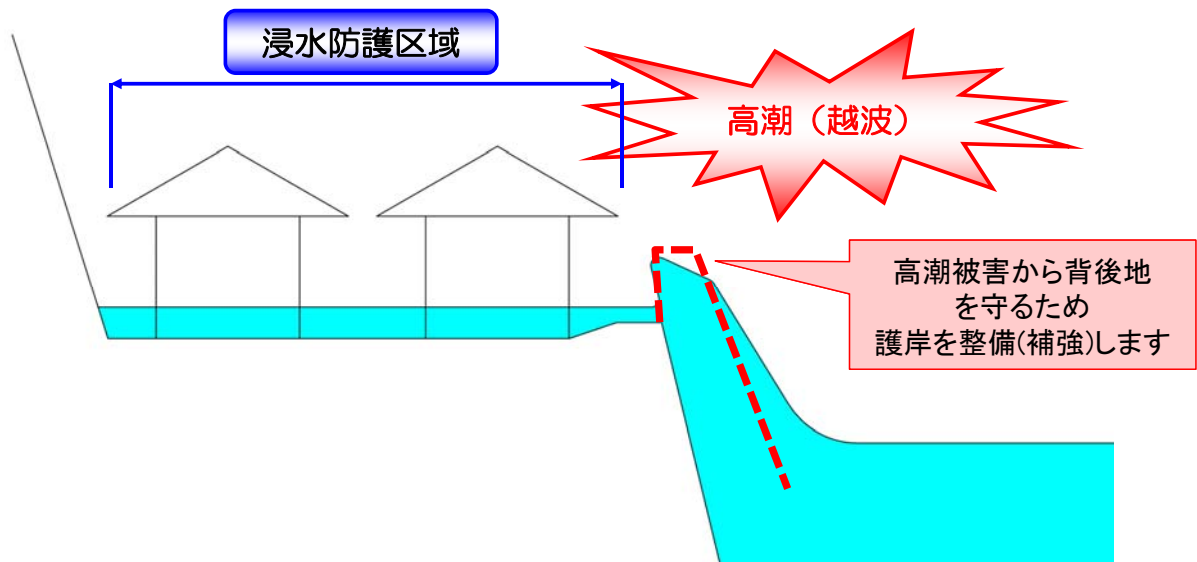
【目的】

このため、護岸（補強）整備を実施し、高潮や侵食被害から護岸背後地を保護し、県民安全度の向上を図る。

- ・ 浸水面積 4.0ha
- ・ 家屋 62棟
- ・ 事業所 19事業所
- 計 81棟



2. 高潮対策事業の概念



当該事業は、高潮から背後地の浸水被害を防護する『高潮対策（浸水防護）』を目的としている。

3

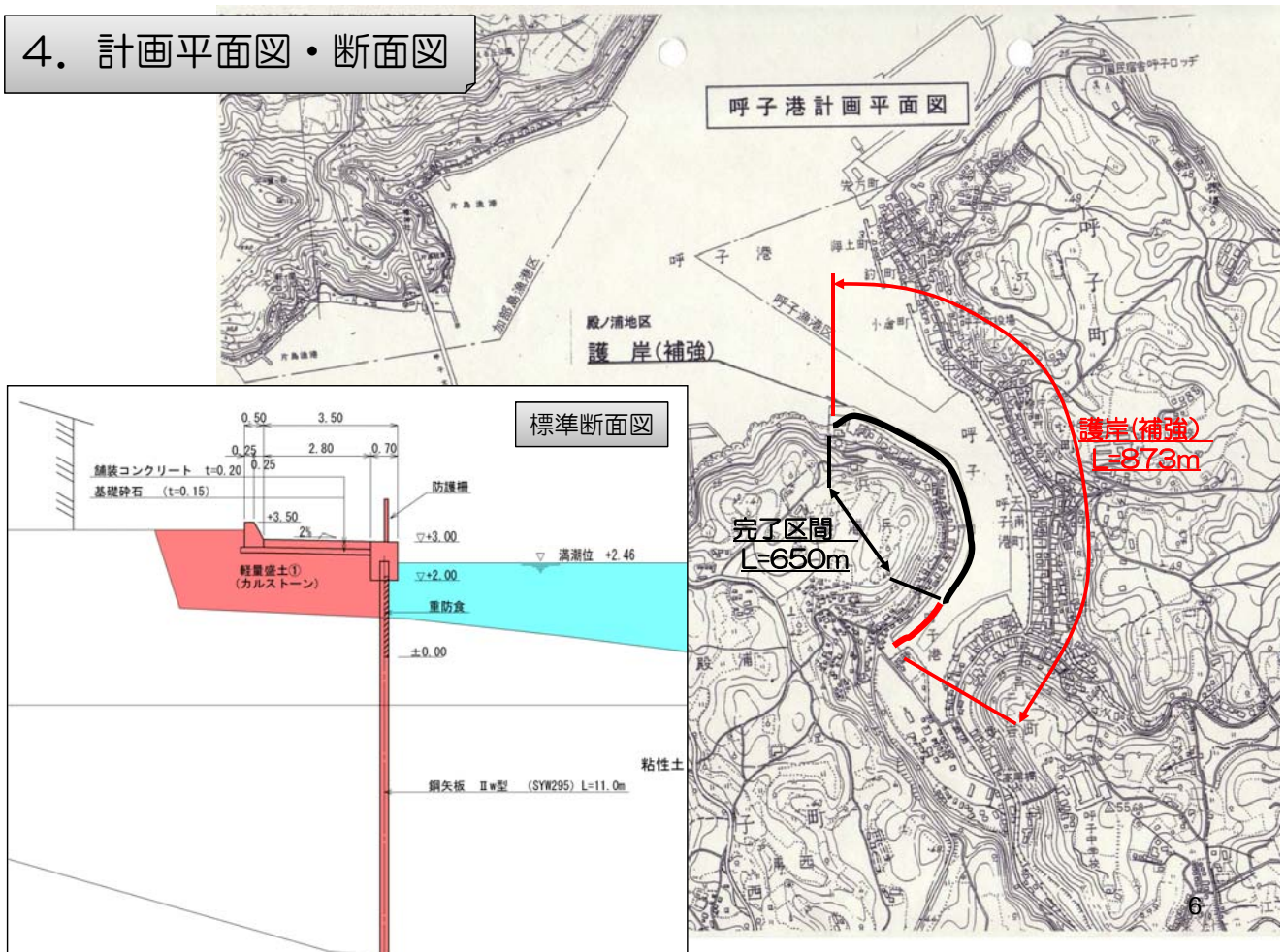
3. 被災状況



4



4. 計画平面図・断面図



5. 事業進捗状況

完了区間（延長：L=650m）



旅館が立ち並んでいます



観光地であるため、遊歩道を整備しています

高潮被害から守るために必要な護岸高さに整備しています

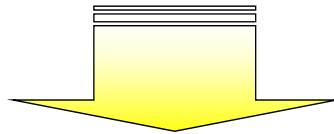
未整備区間



6. 事業の継続について

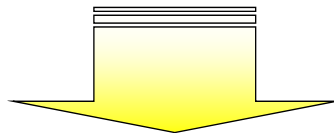
事業の必要性

- ・本地区は、既設護岸より背後地が低いため、高潮発生時には越波による浸水被害が発生する危険性が極めて高い
- ・既設護岸の老朽化が著しい
- ・背後地には旅館、事業所や住宅が密集している



事業を実施することにより・・・

- ・県土の安全度向上
- ・浸水被害の解消、防止
- ・県民の生命・財産と安全安心の確保



費用 C=2,860百万円
便益 B=4,490百万円
費用便益比 B/C=1.57

以上のことから、**事業の継続が必要です**